



# 9月光の子園だより



保育理念 光の中で愛をもち 支え合い育ち合う

2017年度 年主題 愛されて育つ <http://hikarinoko-nursery.jp/>

聖書のみことば

平和をつくり出す人たちはさいわいである。  
(マタイ 5:9)

9月の主題 乳児 0・1・2歳児 『心にとめてやってみる』

今月の願い

9月【0歳児】

- ☆神さまは目には見えないけれど、近くにいることを知る。
- ☆自分の思いが大切にされることを感じる。
- ☆身体を動かす遊びを楽しむ。

【1歳児】

- ☆保育者を通してまわりの人のことを祈る。
- ☆のびのびと全身を使って遊ぶ。
- ☆自分から保育者や友だちに思いを伝える。

## 「子どもたちの感覚」

暑い夏を乗り切りほっと一息。時折とを感じる朝夕の涼しい風を感じ、流れる雲や草花、虫を通し、少しずつと秋を感じます。この夏も光の子の子どもたちは水遊びや泥んこ遊び、虫探しなど、この季節ならではの遊びを思い切り楽しみました。

さて、子どもたちは、自分自身が小さく、地面に近いところにいるからでしょうか、小さなもの、目立たないものを見つけることがとっても得意です。そして、私たち大人が過去に失ってしまった感性を通して、私たちなら見逃してしまうようなものや場所などにたくさんの面白さを見つけ、また感動を見つめます。小さい石が落ちているのを見つけると、手に取って「うわあ〜♪」と目を輝かせ、玩具のカップの中へ。花びらや葉っぱなどの美しい自然物を見つると、また「うわあ〜♪」と目を輝かせ、カップの中へ。そして、集めたものを見て、友だちと「(石が) いっぱいだね〜」、とか「(石が) 2こあるね〜」とお話をしながら、互いに数を知る機会になったり、「(花びら) あか、きいろ」と色を知る機会になったりと、子どもたちが遊びを通して出会う事実のひとつひとつが学びとなり、やがて知識や、知恵へとなっています。

日々、子どもたちの遊んでいる様子を見て思うことは、「子どもに備わっている“美しいものを美しいと感じる感覚”や“新しいものや未知なものに触れたときの感激”って、本当に素晴らしいな。そして、羨ましいな…。」と思います(私はしょっちゅう思います)。では、子どもの感動に大人が少しでも近付くに

はどうすればいいのでしょうか。これはある本に書いていたことなのですが、幸いにも方法がひとつだけあるそうです。目の前のものや、目の前のことが「もしも、今までに、一度も見たことがなかったものだとしたら?そして、もし、これをもう二度とふたたび見ることができないとしたら?」(著書: The Sense of Wonder) そう思って石を見るとどうでしょうか…。そう思って花びらや葉っぱを見るとどうでしょうか…。そう思って秋の涼しい風を感じるとどうでしょうか…。そう思って秋の空を見上げるとどうでしょうか…。そう思いながら子どもと関わり、子どもの感動に少しでも、近づきたいと願います。9月も子どもたちから幼子らしい素直さを学び、保護者の皆様と手を取り合って、子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

主査 信川 渉



## 9月の予定

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7 避難訓練	8	9
10	11 発育測定 ほしグループ	12	13	14	15	16
17	⑱ 敬老の日	19 発育測定 そらグループ	20 キッズエアロ	21 お誕生会	22	⑳ 秋分の日
24	25 発育測定 つきグループ そよかぜグループ	26	27	28	29	30

地域の子育て支援…園庭開放 毎週金曜日午前

親子体験保育 1日(金) 5日(火) 8日(金) 午前



神戸市東灘区向洋町中2-3  
光の子認定こども園  
078-857-1577